

環境保全

自然とは、植物や動物、多様な生物が互いに協力しあい、長い年月をかけてつくってきたものです。私たちが地上に暮らせるのは、水中の植物たちが光合成を行い、酸素(O₂)を放出し、それが上空でオゾン(O₃)となり、オゾン層が地球をすっぽり覆ったからです。それまでは、太陽からの紫外線を和らげるものがなかったため、生物は陸に上がることはできませんでした。また、1センチメートルの土をつくるのに100年かかると言われています。土は山を覆い、雨水を貯え、少しずつ流してくれます。そして山に土を留めておくためには、樹々が必要なのです。地球が、生物の住める唯一の惑星であり続けることができるのは、自然をつくり続けてきたからです。人間は、人間も自然の一部であるということ長い間、忘れていたかのようにふるまってきました。私たちは、よりよい自然環境を未来の世代に残して行くために、自然をつくり、自然を取り戻して行くと共に、社会の仕組みやライフスタイルを変革し、経済・社会活動から排出される環境負荷を自然の回復力の範囲内に留めて行く必要があります。



オーストラリアで紫外線による皮膚癌予防のために展開しているキャンペーンのキャラクター。SLIP, SLOP, SLAP(シャツを着よう、クリームを塗ろう、帽子を被ろう)と呼びかけています。南極上空のオゾン層が破壊され、太陽の紫外線が直接地上に降り注ぐようになったためです。

(The Cancer Council、在ニューサウスウェールズ・オーストラリアの許可を得て掲載しています。)